

## 地域の特徴及び現状と課題について

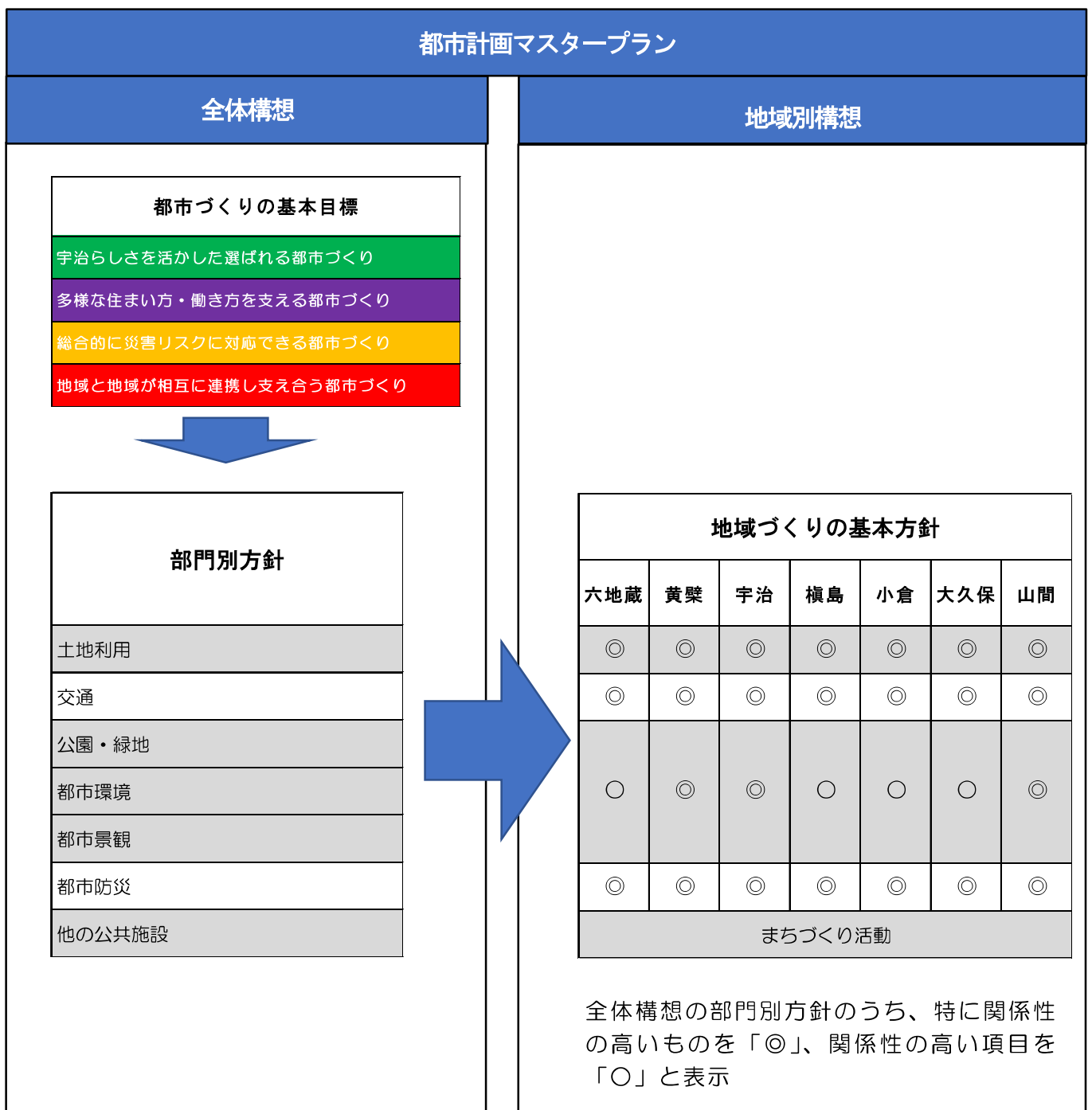


## 地域別構想とは

### ■地域別構想の位置づけ

全体構想は、宇治市全域を対象として、都市のあるべき姿を示したのですが、市民の立場から見ると、自分の住む地域の具体的な姿が分かりにくい面があります。そのため、この地域別構想は、市全域を市民の生活圏に合わせた地域に分割し、地域の人々が主体となるまちづくり活動の熟度にあわせた事業手法や規制・誘導方策など、今後のまちづくりに必要な方策を盛り込んだ地域ビジョン（市民と行政がパートナーシップによるまちづくりを進めていくための基礎的な資料）として位置づけます。

### ■全体構想と地域別構想の関係性



## ■地域別構想の策定過程

### ○当初策定時

市民のみなさんと、ワークショップで地域ごとの課題や地域レベルのまちづくりを一緒に考えながら「地域別構想」を策定しました。

市民の皆さんの多くの意見が反映され「市民参画にもとづく、宇治市の特性をいかした独創的なマスタープラン」とするためにも、ワークショップを通じて市民のみなさんと一緒に宇治市でどのようなまちづくりを進めていくべきかを考えました。



### ○今回

市民のみなさんとともに考えながら策定した現在の地区別構想を継承しつつ、まちづくりオープンハウスや意見交換会で一緒に考えながら新たな「地域別構想」を策定しました。

まちづくりオープンハウス、意見交換会の  
内容を記載

## ■地域区分について

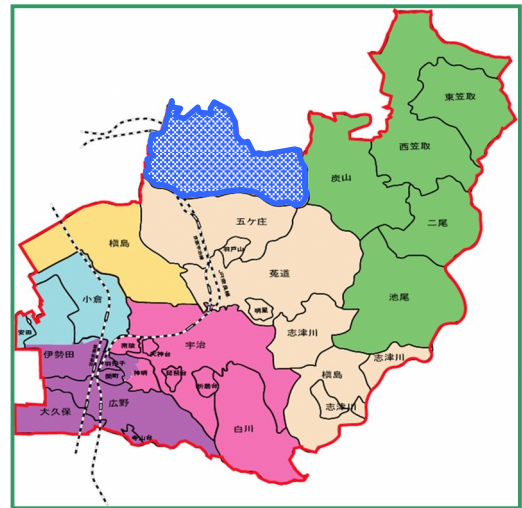
地域区分は、次のことからをふまえながら設定しました。

- ①「将来都市構造図」で示す「中枢拠点」のある「宇治地域」、「連携拠点」のある「六地藏地域」・「大久保地域」、「地域拠点」のある「黄檗地域」・「小倉地域」、「ものづくり産業拠点」のある「槇島地域」を中心に、地域を区分しました。
- ②宇治市のコミュニティの単位として設定した「中学校区」を考慮しました。
- ③自分の住んでいる場所がどこの地域に当てはまるのか理解しやすいように、住所の大きなくくりである「大字界」を考慮しました。
- ④町内会などの連合単位や都市計画上の大きな位置づけである「都市計画区域」の境界も考慮しました。



# 1 六地蔵地域

(六地蔵・木幡・平尾台)



## 1. 地域づくりのテーマ

- JR 六地蔵駅を中心とした六地蔵ゾーンでは、今後ますます高まる交通の利便性をいかし、商業の立地や都心居住をより一層充実させるため、土地利用の合理化を推進するとともに、それらの回遊性を向上させるため、歩行者を第一に考えた歩行者ネットワークの形成をめざします。
- 木幡ゾーンでは、既存市街地内の老朽化した住居の密集に対し、ソフト、ハード両面から災害に強いまちをめざす一方、住宅地内の通過交通を低減し、歩行者が安心して移動できる道づくりを推進します。また、木幡池、松殿山荘や宇治陵など、水とみどり豊かで身近な自然を大切に、許波多神社(木幡東中)や茶畑など、地域特有の文化・歴史の保全に取り組んだまちづくりをめざします。



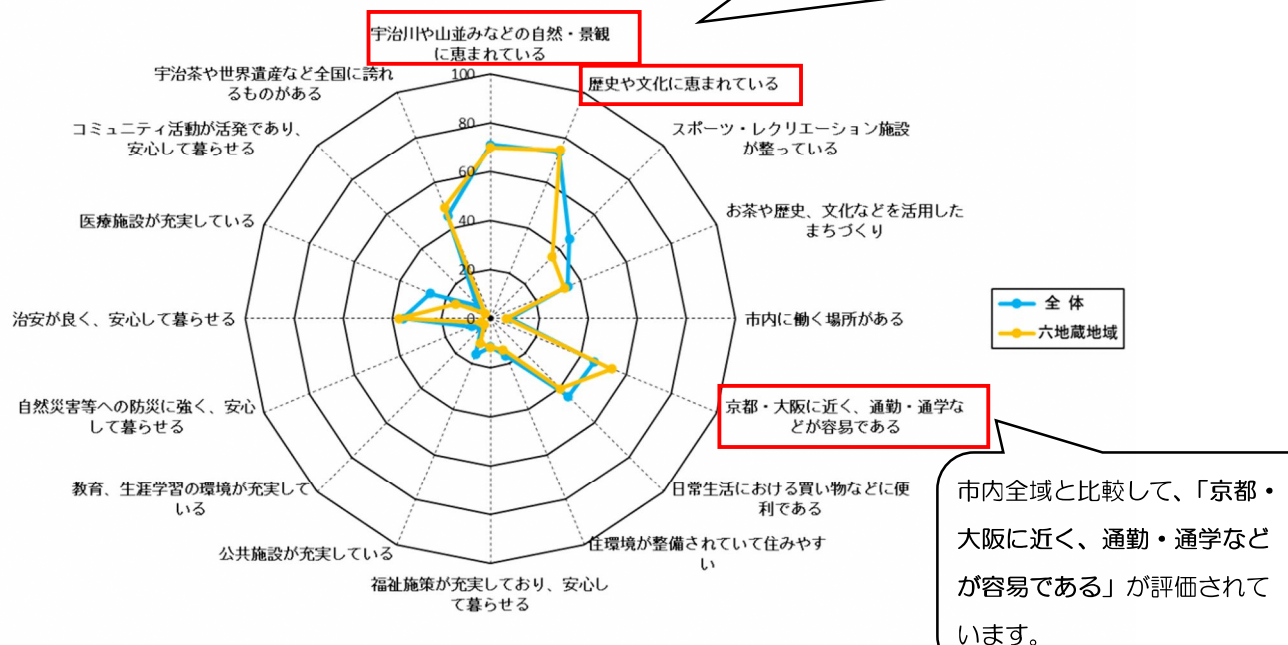
## 2. 地域の現状

土地利用	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 京都市と隣接しておりまちづくりの連携が必要です。</li><li>○ JR 六地蔵駅周辺では、市民ニーズの変化から大型商業施設やホテルなどが撤退しました。</li><li>○ 府道京都宇治線より東側は、主として住宅地が中心であり、地域の約6割を占めています。</li><li>○ 駅から商店街、住宅地への回遊性を向上させるとともに、既存の商業業務施設を中心に、魅力と活力の向上が必要です。</li></ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"><li>○ JR 奈良線の複線化に併せて JR 六地蔵駅の駅舎の移転・改良を行っています。</li><li>○ 府道京都宇治線や京都市道外環状線では、朝夕の渋滞が続いており、地域内の道幅が狭い生活道路には、車の流入が多くなっています。</li><li>○ 北の玄関口としてふさわしい幹線道路、駅前広場の整備などの充実が必要です。</li><li>○ 身体障害者や高齢者等が安全に移動できるなど、全ての人が安らぐことのできるみどりに包まれたやさしい道づくりが必要です。</li></ul>

公園・緑地、 環境、景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木幡南山周辺のまとまったみどりや、栄華を極めた藤原氏一門の陵墓としても知られる宇治陵周辺のみどり、地域全域にわたって散在している茶畑、東宇治浄化センターも含めたその西側にもうるおいのあるみどりが残されています。</li> <li>○ 宇治市と伏見区にまたがる、湿地帯を含む広大な池沼「木幡池」は、野鳥が飛来し、花とみどり豊かな地域資源として親しまれています。</li> <li>○ 花とみどり豊かな地域資源として親しまれている木幡池を保全しつつ、より一層自然に親しめる場所にする必要があります。</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過去に宇治川などの氾濫でたびたび被害に遭っており、浸水被害の危険性が危惧されます。また、災害時に緊急車両が通れない生活道路の状況など防災体制の低さが見受けられます。</li> <li>○ 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（六地藏地域） (N=939 (196))

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。



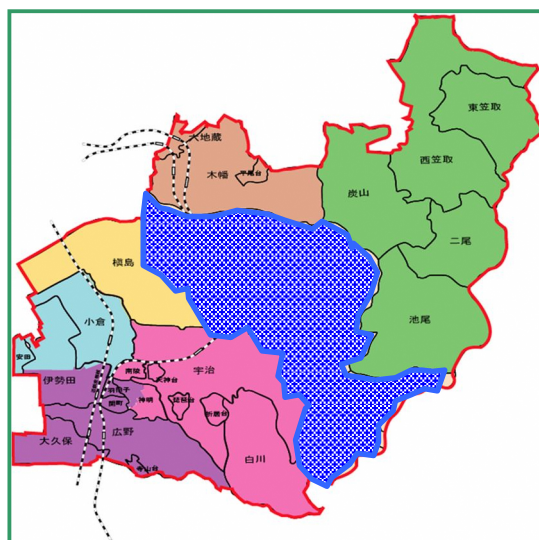
資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 商業ニーズの低下、住宅ニーズの増大、ホテル撤退による文化交流機能が低下など広域的な交通結節点としてのにぎわいのあり方。
- 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

## 2 黄檗地域

(五ヶ庄・羽戸山・菟道  
・明星町・志津川)



### 1. 地域づくりのテーマ

- 豊かな自然・歴史を大切にしながら、文教施設などとの調和・連携を図るとともに、子供から高齢者まで全ての人が心豊かで安心・快適に住めることのできる市街地環境の創出をめざします。
- 萬福寺、三室戸寺および許波多神社（五ヶ庄古川）などの神社仏閣、源氏物語に由来する多くの史跡が今でも残るなど、この「地域のもつ良さ」をより磨きあげながら安らぎのある生活のしやすい市街地を形成します。



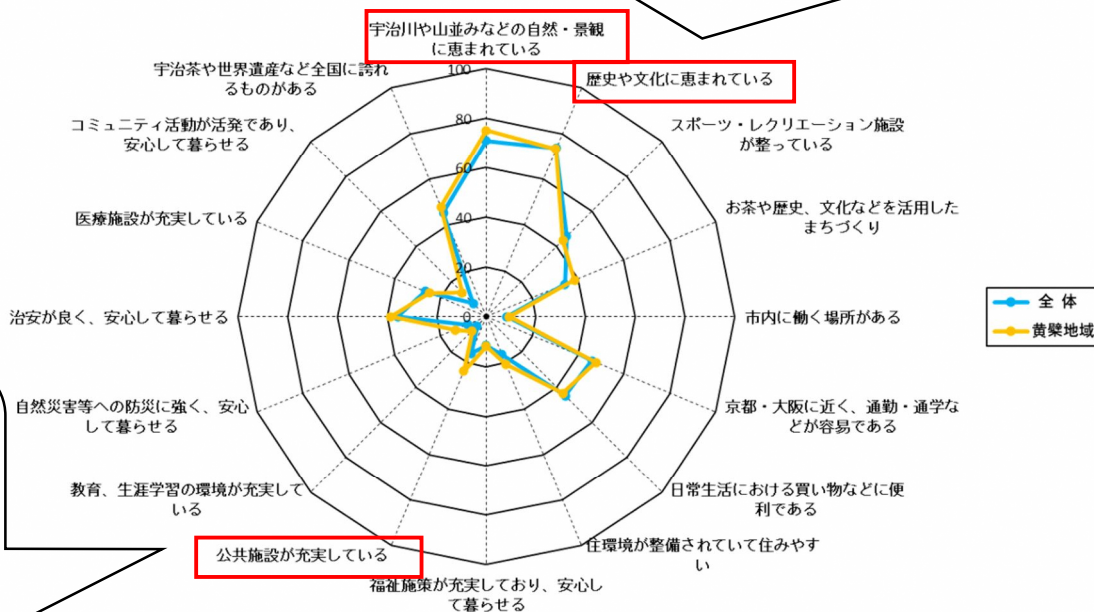
### 2. 地域の現状

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 黄檗地域は、宇治市のほぼ中央部に位置しています。その内、西側では京都大学、陸上自衛隊が、東側には萬福寺や三室戸寺があるなど、文化的、歴史的にも多様なまちとなっています。</li> <li>○ 京都大学や陸上自衛隊を除くと、主として住宅地が中心であり、地域の約7割を占めています。</li> <li>○ 市街地は、JR・京阪黄檗駅および京阪三室戸駅を中心に、府道京都宇治線に沿って、商業・業務地が形成されています。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区内の道路では、朝夕の通勤・通学ラッシュが激しいところでも道幅は狭く歩道が整備されていないなど、安心して歩けないところも見られます。また、地域内への生活道路への車の流入も多く見られます。</li> <li>○ 身体障害者や高齢者等が安全に移動できるなど、全ての人がみどりに包まれ安らぐことのできるやさしい道づくりが必要です。</li> </ul>

環境・ 公園・ 緑地、 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旧奈良街道などに見られる趣のある風景や、歴史的な寺院が見られるなど、歴史的遺産が多い地域であることから、訪れる人々も多く見られます</li> <li>○ 宇治川など市街地に隣接した身近な自然をはじめ、志津川や高峰山など、豊かな自然的景観が繰り広げられています。</li> <li>○ 特に、志津川では、ホタルの生息も見られるなど、生態系にとっても貴重な自然となっています。</li> </ul>
防 都 災 市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本地域は、黄檗断層が走っていることなどから防災上の対策が必要です。</li> <li>○ 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（黄檗地域） (N=939 (161))

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。



市内全域と比較して、「文化センター、コミュニティセンター、地域福祉センターなどの公共施設が充実している」が評価されています。

資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 人口減少の中、商業の活性化には、京都大学宇治キャンパス（宇治おうばくプラザ）や萬福寺との連携の促進など活性化が必要です。
- 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

### 3 宇治地域

(宇治・折居台・琵琶台・天神台  
南陵町・神明・白川)



#### 1. 地域づくりのテーマ

- 宇治橋通り商店街周辺では安全・安心して買物が楽しめるまちづくりを推進するため、最適な通過交通処理方法を検討し、歩行者や自転車利用者のための買い物空間をめざします。
- 宇治川周辺には水やみどりによって形成されたうるおい空間があり、多くの優れた景観が楽しめる場を持っていることから、宇治市まちづくり・景観条例、宇治市景観計画やその他既存制度を活用し、良好な景観の形成に取り組めます。
- 白川周辺の自然を利用した東海自然歩道、もみじ谷、寺川の清流などを保全するため、里山づくりなど現在行われている活動を支援します。一方、地域内で見られる乱開発や不法投棄などの規制に取り組めます。
- 宇治・折居台・琵琶台・天神台・南陵町・神明周辺は快適な住環境が整った住宅地で、今後もこの快適な住環境の維持・保全に努めます。



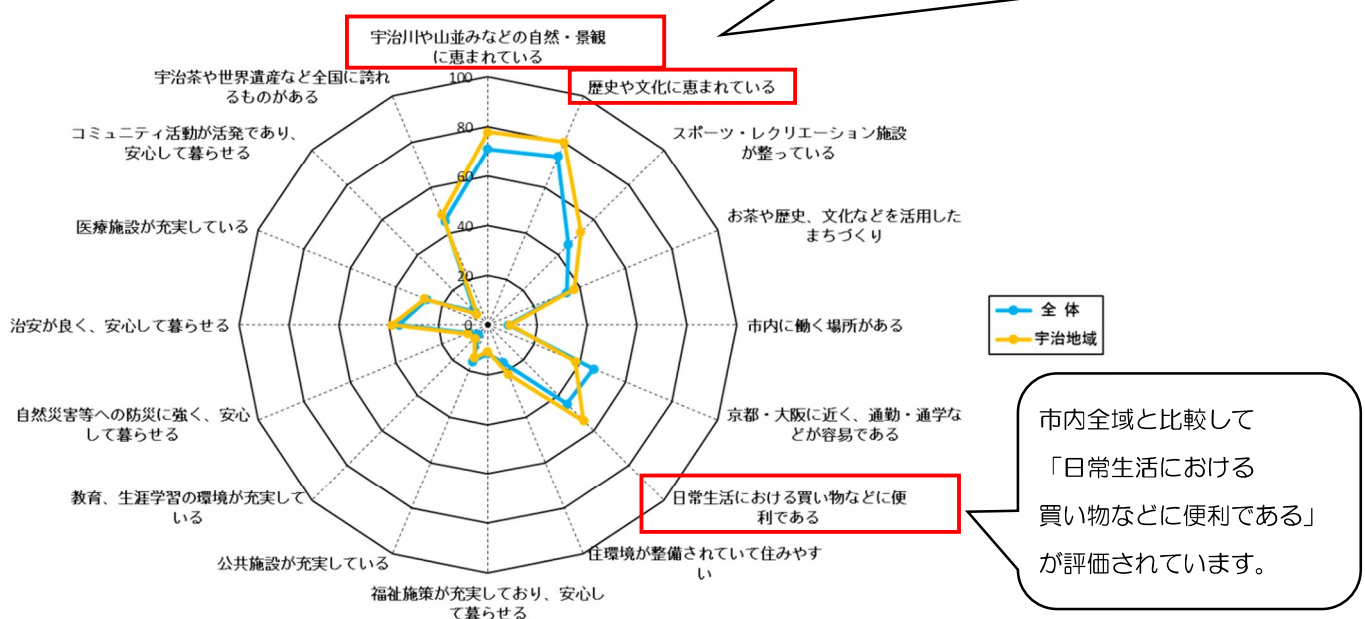
#### 2. 地域の現状

土地利用	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 住宅地では身近なみどりに包まれた閑静な住宅地が展開しており、特に、折居台には中央図書館、文化センター、東山公園などの公共施設が充実しており、利便性にも優れた場所となっています。</li><li>○ 白川が有する豊かな自然的環境を保全するためにも不法投棄の規制を徹底するとともに、乱開発の規制が求められています。また、農業の後継者問題も含め市民団体と連携したまちづくりを行う必要があります。</li><li>○ 工業地域の大半は一企業の工場で占められており、準工業地域には工場・住宅の混在が見られます。</li></ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 新たな幹線である新名神高速道路の開通など、広域的な道路網は充実しています。</li><li>○ 府道宇治淀線の朝夕の渋滞に伴う県通り、宇治橋通りおよび朝霧通りの通過車両対策や、車椅子利用者や老人の通りやすさや、御旅所前交差点の安全対策が求められています。</li></ul>

公園・ 緑地環境、 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宇治橋で有名な宇治川には悠々たる川の流れとともに、その両側には豊かなみどりを有しており、散策に適した道路や施設が整備されています。</li> <li>○ 宇治橋通り商店街へ人を呼び込むために、空き店舗利用による商店街の再生や駐車場の整備を図るとともに、景観の形成を図る必要があります。</li> <li>○ 世界遺産をはじめ縣神社、宇治神社、放生院（橋寺）、恵心院、興聖寺など、宇治川を中心に平安時代の日本の表舞台であったことを垣間見る歴史的遺産が保存されています。</li> <li>○ 白川では白壁のまちなみがあるとともに、丘陵地のゆるやかな斜面を利用した大規模な茶畑や寺川の清流など、多様な景観が見られます。</li> </ul>
防災 都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（宇治地域） (N=939 (189))

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。



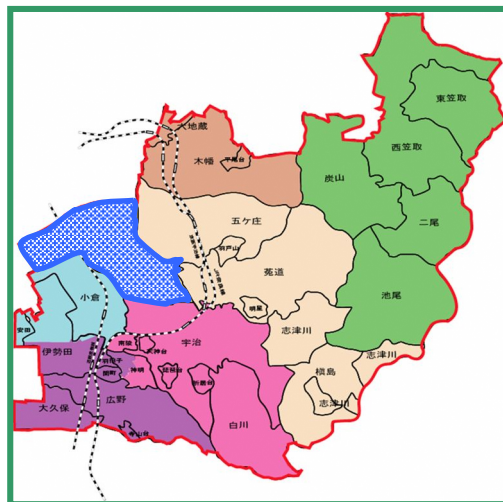
資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 宇治橋（府道京都宇治線）を起点とした周辺地域の渋滞が発生しており、広域的な道路網のあり方や観光車両の分散など引き続き検討が必要です。
- 新たな幹線である新名神高速道路との近接性を活かし、多様な働く場を創出するため新たな産業立地エリアの検討が必要です。
- 地域内には黄檗断層が走っていることや、洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

## 4 榎島地域

(榎島町)



### 1. 地域づくりのテーマ

- 榎島地域を、高速道路への近接性を活かした既存産業と新たな産業の立地による「産業拠点」として将来に向けてより一層充実させるため、道路・公共交通などの改善・充実を図ります。また、広大な農用地の保全・振興を図るとともに、住宅地としての良好な環境を維持していくことを基本とします。
- 巨椋池干拓田をはじめとした豊かな自然的環境を活かした魅力づくりを進め、働く場所としての産業基盤の充実とこれを支える利便性・快適性をかね備えた良好な市街地を形成し、未来に「開けゆく」まちづくりを進めます。



### 2. 地域の現状

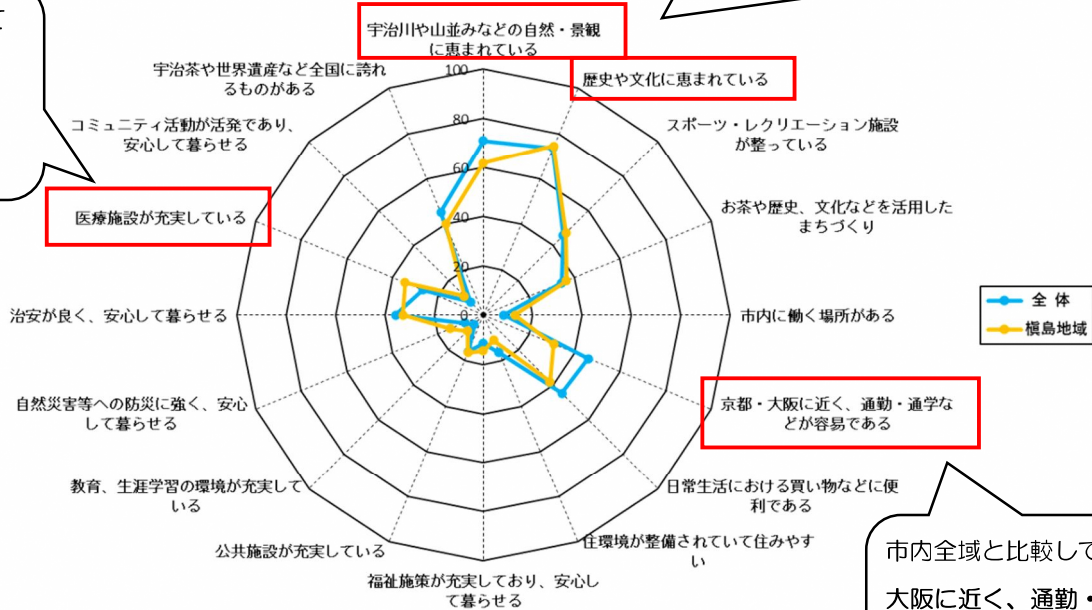
利 用 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市街地のうち住宅地は約5割、工業地が約3割となっています。</li> <li>○ <b>工業地域では、比較的工場が多く存在しており、一団の新たな産業用地が少なくなっています。</b></li> </ul>
交 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 榎島地域は、宇治市の北西に位置しており、地域の中央を京滋バイパスが東西に横断し、宇治西インターチェンジがあるほか、国道24号、府道城陽宇治線が縦断しています。</li> <li>○ 榎島地域には鉄道駅がなく、また、バスの便もよくありません。</li> <li>○ 生活道路の狭さや大型車の通行による危険、騒音やほこりなどが課題となっています。</li> <li>○ 大幡付近では緊急車両の通行が難しい狭い道路があるなど歩きにくさが目立ちます。</li> </ul>
環 境、 景 観  公 園・ 緑 地、	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 榎島は室町時代に現在の大幡に榎島城が築かれ、足利将軍家奉公衆の一員榎島氏の本貫のところでされた歴史があります。また、豊臣秀吉によって榎島堤が設けられ、街道の形が大きく変わったことでも有名な場所で、巨椋池には多くの歴史があります。</li> <li>○ 妙光寺、誓澄寺、耕石庵、蛭子嶋神社などの神社仏閣が存在するほか、旧大和街道沿いや園場に残る蔵や門構えなど、古い家並みが見られます。</li> <li>○ 巨椋池干拓田をはじめ豊かな水とみどりが残されている地域です。</li> </ul>

- 医療・福祉施設等整備促進エリアについて、病院の開業など施設の充実が図られています。
- 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（槇島地域）（N=939（55））

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。

市内全域と比較して「医療施設が充実している」が評価されています。



市内全域と比較して「京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である」の評価は低くなっています。

資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 幹線道路沿道から工場が撤退するなど商業系の土地利用が進むなど変化が見られ、事業拡大のための用地が不足（市外転出）しており、操業環境の保全が必要です。
- 道路網は市南北の口が慢性的に渋滞しており、東西軸の強化による分散など、産業振興のためにも改善が必要です。
- 高速道路との近接性を活かした既存産業の集積と、多様な働く場を創出するため新たな産業立地エリアの検討が必要です。
- 医療・福祉施設等整備促進エリアについて、ニーズの高い回復期の病院機能の強化等、医療・福祉の連携した機能充実が必要です。
- 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

## 5 小倉地域

(小倉町・伊勢田町・安田町)



### 1. 地域づくりのテーマ

- 地域内にある豊かな自然や歴史あるまちなみの保全に努めるとともに、暮らしやすさを向上させるために、鉄道により分断されている東西の交通手段の確保や駅周辺の再整備を検討します。
- そのことにより、地域に住む人々が小倉地域への愛着を育み、子ども達に将来胸を張って伝えることができるまちにしていきたいです。



### 2. 地域の現状

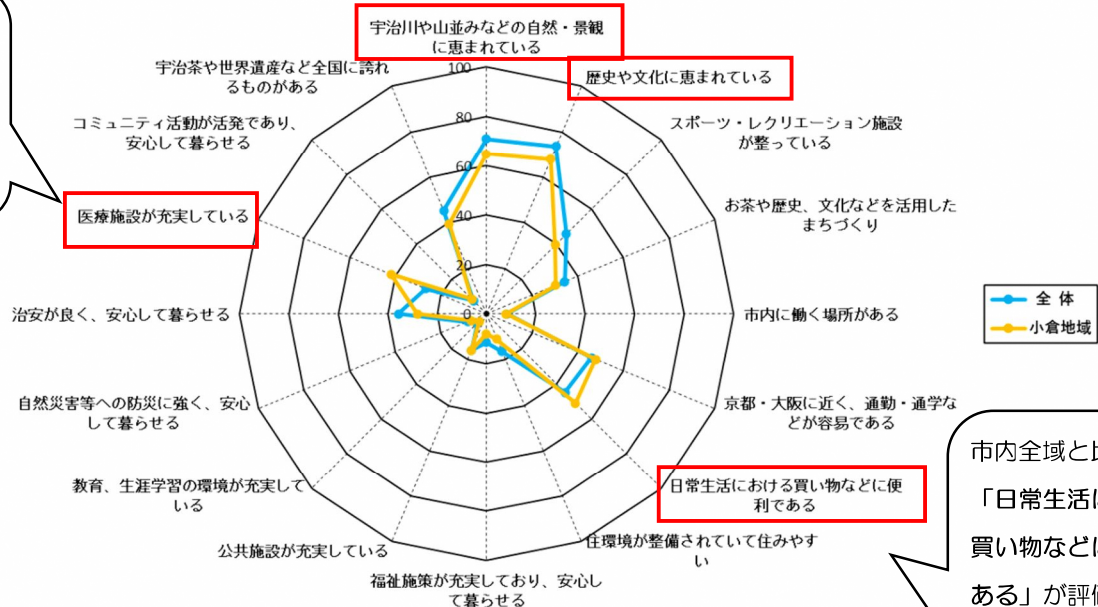
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 府道城陽宇治線より西側は主として住宅地が中心であり、地域の約7割を占めています。</li> <li>○ 小倉が市街地を形成したのは昭和30年代後半からの京都市のベッドタウン化によるもので、近鉄小倉駅は通勤・通学者を京都へ運ぶ駅としてその重要性を担っています。</li> <li>○ 住環境については、南堀池や南浦では木造住宅が密集し、狭い敷地が多く、消防車等の緊急車両の進入困難な道路があるとともに、その他の場所でも騒音の発生、河川等へのゴミの不法投棄などの問題があります。</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小倉地域は宇治市の西に位置し、JR奈良線や近鉄京都線が通り、京都市および城陽市へ通じる府道城陽宇治線が南北に通っています。</li> <li>○ 府道八幡宇治線、府道城陽宇治線では、朝夕の渋滞がつづいています。また、近鉄京都線の踏切により、渋滞が発生しています。</li> <li>○ 鉄道で分断された東西交通の円滑化を図るとともに、他地域への公共交通の充実が必要です。</li> </ul>

環境、 公園・ 緑地、 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市街地の中には生産緑地や桜並木、西宇治公園など、身近にみどりが感じられます。特に、巨椋池干拓田ではバードウォッチングも楽しむことができ、市民に憩いとうるおいを与えています。</li> </ul>
都市 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活道路では歩行者の安全性や快適性を高めるとともに、災害に強い密集市街地の再整備が必要です。</li> <li>○ 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（小倉地域）（N=939（165））

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。

市内全域と比較して「医療施設が充実している」が評価されています。



市内全域と比較して「日常生活における買い物などに便利である」が評価されています。

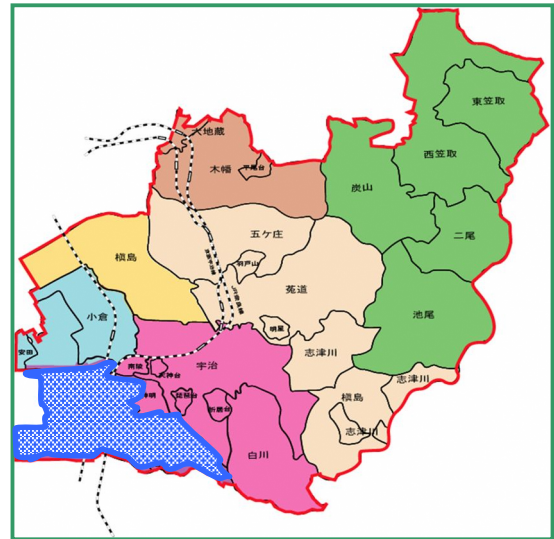
資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 商業需要の低下及び買い物形態の変化に伴い、駅周辺への商業集約のあり方について見直す必要があります。
- 駅及びまちの中心部の広範囲が浸水想定エリアであり、災害を踏まえたまちづくりのあり方について検討が必要です。
- 新たな幹線である新名神高速道路との近接性を活かし、多様な働く場を創出するため新たな産業立地エリアの検討が必要です。
- 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

## 6 大久保地域

(大久保町・伊勢田町・広野町  
羽拍子町・開町・寺山台・神明)



### 1. 地域づくりのテーマ

- 地域内に残されたみどりや生産緑地の保全に努めるとともに、名木川の水質浄化やその河川沿いに憩いの空間の創設、山城総合運動公園や植物公園をはじめ地域内のみどりの拠点の充実などにより、水やみどりなどの自然と調和するまちづくりを進めます。
- これらの自然とともに地域内に残る文化・歴史と産業・商業集積を大切にしながら、近鉄大久保駅、近鉄伊勢田駅、JR新田駅があるという長所を最大限にいかし、宇治市の南の玄関口として利便性の高い市街地環境の創出をめざします。



### 2. 地域の現状

利 土 用 地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 城陽市、久御山町と隣接しておりまちづくりの連携が必要です。</li> <li>○ 府道城陽宇治線の両側には住宅地が広がり、地域の約7割を占めています。</li> <li>○ 住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向しています。</li> </ul>
交 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大久保地域は宇治市の南部に位置し、近鉄大久保駅、近鉄伊勢田駅およびJR新田駅があるほか、府道城陽宇治線や府道宇治淀線などの幹線道路が集中しており、城陽市、久御山町および宇治田原町をつなぐ交通の要所となっています。</li> <li>○ 地域内には、近鉄大久保駅の西側に陸上自衛隊があり、商業地が同駅を中心に府道城陽宇治線に沿って形成されています。</li> <li>○ 身体障害者や高齢者等が安全に移動できるなど、全ての人が安心して暮らせるまちづくりが必要です。</li> <li>○ 新宇治淀線の整備やJR新田駅周辺整備により、生活道路の通過交通が減少し、快適な歩行空間が確保されたましたが、まだ未整備の歩道が残っています。</li> </ul>

環境、景観	<p>公園・緑地、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域内には、みどりが多く残る名木川をはじめ、山城総合運動公園、ふれあいの森および植物公園などがあり、身近に自然が楽しめます。</li> <li>○ 大久保の歴史を再認識し活用するため、地域内の歴史的遺産や名木百選などを巡るルートをはじめ、未来の名木を育む空間づくりなどに取り組む必要があります。</li> </ul>
都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大久保や伊勢田周辺の旧市街地は道路も狭く防災上も問題が多いため、土地利用を適正に行うことを目的とした市街地整備を検討する必要があります。</li> <li>○ 地域には、災害リスクが高い地域もあり、ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（大久保地域） (N=939 (165))

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。



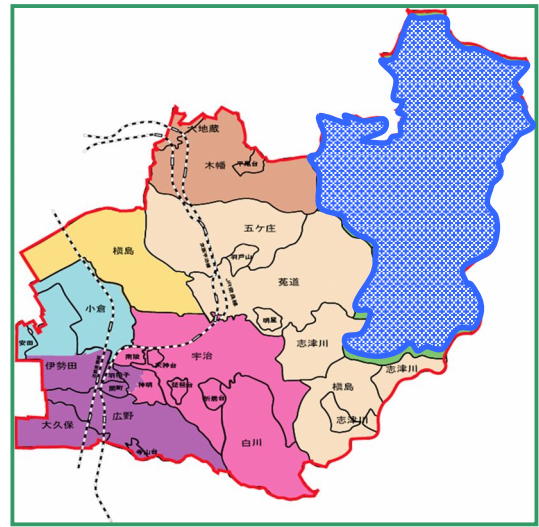
資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 工業系の土地利用について、住居、商業のニーズが高く、府道沿道（南側）の工業的土地利用が減少傾向となっています。
- 府道沿道には広大な大久保自衛隊（約43ha）が位置し、これ以上の産業集積は困難な状況となっています。
- 住民ニーズの変化により、駅周辺への商業の集約化や滞在時間延長などにつながっていない状況にあります。
- 地域内には洪水浸水想定区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。

## 7 山間地域

(炭山・二尾・池尾・東笠取・西笠取)



### 1. 地域づくりのテーマ

- 宇治市民の貴重な財産であり、地域の誇りである自然のみどりや宇治川、そこに流れ込む支流の河川を、不法投棄や乱開発などの破壊から守ります。
- 道路網などの都市基盤の整備や地域産業である農林業の振興や、工芸の里、アクトパル宇治などの観光・レクリエーション施設の活用によって活性化を図るとともに、この地域に暮らす人々が、生活に不便なく、安心して住めるまちづくりを進めます。



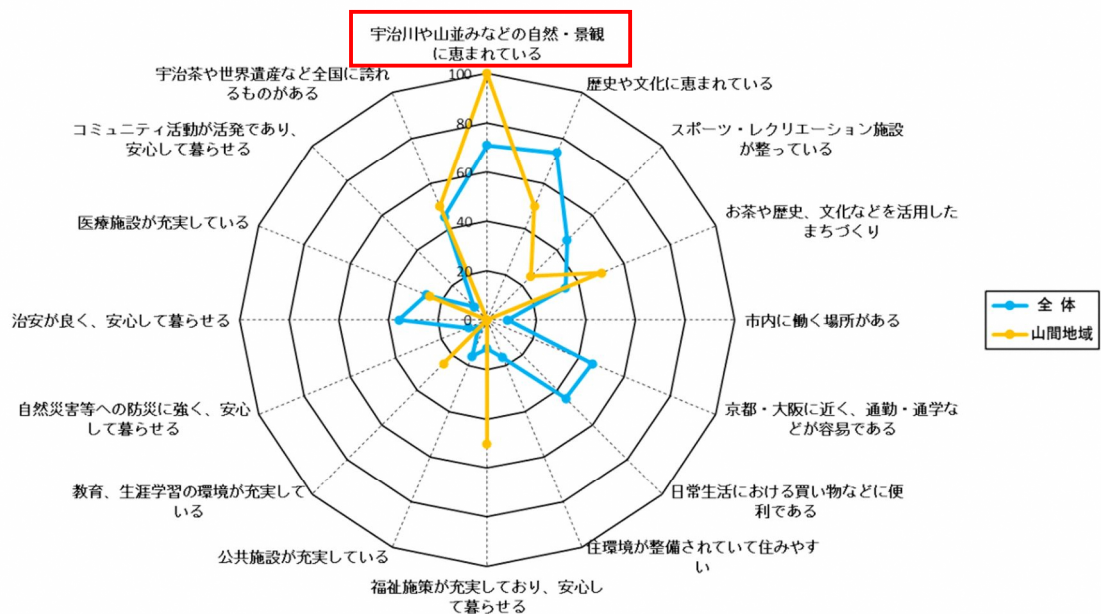
### 2. 地域の現状

土地利用	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 本地域は都市計画区域外で、宇治市の北東部に位置し、市域の3分の1を占めています。また山林が約9割を占めており、谷底平野に集落と田畑があります。</li><li>○ 農業では、畑を猪や鹿などに荒らされるなど、農作物への被害が表面化しています。また、東笠取に農業振興地域があることから、後継者の問題や今後の土地利用の方向性が課題となっています。</li></ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 京都市、大津市と宇治田原町に接し、地域の中央を東西に京滋バイパスが横断し、笠取インターチェンジがあります。</li><li>○ 地域の中央には標高370mの笠取山があり、南側には宇治川が流れています。宇治川沿いには、大津市へ通じる府道大津南郷宇治線が、また、六地藏方面へ通じる府道二尾木幡線があります。</li><li>○ 地域内には公共交通機関がなく、移動は自動車に依存しています。</li></ul>

環境、景観	公園・緑地、	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然が豊かな地域で豊かな水とみどりに恵まれ、ホタルも多く生息しています。</li> <li>○ 東笠取では自然農法が取り組まれ、西笠取では自然をふんだんに取り込んだ施設アクトパル宇治があります。このような環境の中で、人々はその地域ごとにまとまりながら暮らしています。炭山では昭和の後半になって京都市内から京焼の伝統を持つ工芸家が相次いで炭山に陶窯を移し、各種の陶器を生む工芸家の集落が形成されています。</li> <li>○ 資材置き場や倉庫などの土地利用が見られるほか、山間部への不法投棄が目につきます。また、汚水が川に流れ込み水質汚濁が進むなど、環境への影響が懸念されています。</li> </ul>
防災	都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域内は大部分が山林で占められており、土砂災害の危険性の高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有が必要です。</li> </ul>

### 3. 住民による宇治市の魅力の評価（山間地域）（N=939（4））

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」の評価が高くなっています。



資料：「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」

### 4. 地域づくりの主な課題

- 人口減少、少子高齢化が特に進展しており、地域づくりの担い手が不足しています。
- 既存公共交通を基盤とした新たな移動ニーズへの対応が必要です。
- 地域内には土砂災害警戒区域などが存在することから、ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、防災能力の向上が必要です。